

氏名：

榎山 儀恵（もみやま のりえ）

現所属：

自然科学研究機構 分子科学研究所 生命・錯体分子科学研究領域
総合研究大学院大学 分子科学コース

住所：〒444-8787 愛知県岡崎市明大寺町字東山 5-1

E-mail：momiyama@ims.ac.jp 電話番号：(0564) 59-5531

略歴：

1995 年 3 月	愛知県立時習館高等学校卒業
1996 年 4 月	名古屋大学工学部化学・生物工学科 入学
2000 年 3 月	名古屋大学工学部化学・生物工学科 生物機能工学専攻 卒業（指導教員：山本尚教授）
2000 年 4 月	名古屋大学大学院工学研究科生物機能工学科 博士前期課程 入学
2002 年 3 月	名古屋大学大学院工学研究科生物機能工学科 博士前期課程 修了（指導教員：山本尚教授）
2002 年 4 月	名古屋大学大学院工学研究科生物機能工学科 博士後期課程 入学
2002 年 7 月	名古屋大学大学院工学研究科生物機能工学科 博士後期課程 休学
2002 年 7 月	シカゴ大学大学院化学科 転入学
2005 年 3 月	名古屋大学大学院工学研究科生物機能工学科 博士後期課程 退学
2005 年 12 月	シカゴ大学大学院化学科 Ph.D.取得（指導教員：山本尚教授）
2005 年 11 月	ハーバード大学 博士研究員（Prof. David. R. Liu）
2006 年 10 月	東北大学大学院理学研究科化学専攻 助手
2007 年 4 月	職名変更により同上 助教
2014 年 6 月～	自然科学研究機構 分子科学研究所 生命・錯体分子科学研究領域 錯体触媒研究部門 准教授 総合研究大学院大学 准教授

受賞歴：

- 第17回守田科学研究奨励賞（平成26年度）
- 有機合成化学協会 セントラル硝子研究企画賞 平成26年度（2014年度）
- Thieme Chemistry Journals Award 2008
- Damon Runyon Cancer Research Foundation Post Doctoral Research Fellowship, 2005-2006
- Abbott Laboratories Graduate Fellowship, 2005
- The Elizabeth R. Norton Prize for Excellence in Research in Chemistry, 2002-2003, U of C, May 2003

研究費：

科学研究費補助金

- 若手研究（スタートアップ）平成19年度（2007年度）“酵素模倣型キラル求核触媒の設計および不斉反応の探索”（平成19年度～20年度）
- 特定領域研究協奏機能触媒 平成20年度（2008年度）“ π -アリル・O価鉄複合体-キラルブレンステッド酸触媒による新規アリル化反応の開発”（平成20年度～平成21年度）
- 若手研究（B）平成21年度（2009年度）“ペルフルオロフェニル基の特性を利用した不斉有機酸触媒の開発とアリル化反応への応用”（平成21年度～平成22年度）
- 基盤研究（C）平成23年度（2011年度）“有機分子アリル化剤の開発を基軸とする革新的不斉有機分子触媒反応の開拓”（平成23年度～平成25年度）
- 基盤研究（C）一般 平成29年度（2017年度）“ホスフィン酸を活性中心とする新規キラルブレンステッド酸触媒の開発”（平成29年度～平成31年度）
- 新学術領域研究（研究提案型）平成30年度（2018年度）“ハロゲン結合を基盤とする有機分子触媒の高分子固定化とキラル反応場の創成”（平成30年度～31年度）
- 学術変革領域（A）2021-2025年度“精密合成を迅速に実現する全データ駆動型反応開発システムの構築”

科学研究費補助金以外

- 公益信託林女性自然科学者研究助成基金 平成19年度 “アゾール／グアニジン 2成分系キラル求核触媒の設計開発および不斉反応の探索”
- 住友財団基礎化学研究助成 2007年度 “アザ-コープ転位を基盤とする触媒的不斉炭素-炭素結合形成反応の開発”
- 理学研究科若手奨励研究基金 平成19年度 “アザ-コープ転位を基盤とする触媒的不斉アリル化反応の開発”
- 「分子系高次構造体化学国際教育研究拠点」若手奨励費研究 平成19年度 “高次構造アルカロイドの合成を指向した鍵中間体ピロリジンの触媒的不斉合成反応の開発”
- ノバルティス科学振興財団第28回ノバルティス研究奨励金 “不斉1, 3-アルキル移動反応の開発を基軸とする医薬品候補化合物の合成” (平成27年度)
- 2015年度ヨウ素研究助成 “キラルヨウ素結合供与体触媒の設計・開発を基盤とする不斉合成” (平成27年度)
- 徳山科学技術振興財団平成27年度研究助成 “ハロゲン化ペルフルオロアリの創製と触媒機能創出” (平成27年度)
- 内藤記念科学奨励金・研究助成 (2015年度) “ペルフルオロビナフチル誘導体の分子修飾に基づくキラルハロゲン結合供与体触媒の設計・開発”
- 大幸財団・自然科学系学術研究助成 (2016年度) “異種酸性官能基複合型キラル分子性触媒の創製と精密合成反応の開発”
- 豊秋奨学会研究費助成 (2016年度) “異なる酸性官能基の隣接位導入による超高活性キラル分子性触媒の開発”
- 住友財団基礎科学研究助成 (2016年度) “異種酸性官能基複合型キラル分子性触媒による触媒的不斉連続反応の開発”
- 住友電工グループ社会貢献基金 2016年度 学術・研究助成 (2016年度) “多点間水素結合相互作用を活用する高活性キラル分子性触媒の創製”
- 大幸財団海外学術交流研究助成 (平成29年度) “基礎及び応用化学国際シンポジウム2017” ベトナム (ホーチミン)
- アステラス病態代謝研究会 平成29年度研究助成金 “非金属錯体触媒による医薬品構成素子合成法の開発”
- 鈴木謙三記念医科学応用研究財団 平成29年度助成金 “ヨードニウム錯体触媒による抗悪性腫瘍薬スピロ環状ラク톤の環境調和合成法の開発”

- 永井科学技術財団研究奨励金（平成 29 年度） “鋳型重合による有機分子触媒反応場の創成”
- 旭硝子財団 2017 年度募集・2018 年度採択 自然科学系「研究奨励」第 1 分野 “ハロゲン結合を活用する有機分子触媒高分子反応場の創成”
- 科学技術振興機構 ムーンショット型研究開発事業 目標 3 “人と融和して知の創造・越境する AI ロボット” 課題推進者（令和 6 年度～）